



小松 大成 議員 (無会派)

一括質問方式

【その他の質問】

- 公契約条例制定について
- 農耕馬飼養農家への支援策について

米価暴落について

問

今年産早場米の消費地では、昨年度の価格を大幅に下回る米価暴落の状況である。このまま米価が下落することは、当市の稲作農家のみならず農業経営全体に及ぼす影響は甚大である。主食である米の需給と価格の安定をはかることは政府の重要な役割であり、米の過剰基調が明確になって来ている今、政府の責任で需給の調整を行うのが当然なはずだが、政府は市場原理と

してその責任を果たさうとしない。

備蓄米買い入れをはじめとして、緊急に過剰米処理を政府の責任で行うことを遠野市として提言するべきである。

答

東北農政局が発表した8月15日現在の東北6県の作況指数は102から105に相当する「やや良」であり、豊作基調となっている。本市においても「豊作」が見込まれる。しかし、天候不順から

農作物の生育の遅れや病害の発生が広がりを心配する声もあり、一概に暴落するとの予測は出来ない。なお、国においては米価変動に対するとして、補填制度が設けられるなど、米価下落に対する対策が取られている。

政府の「農業改革」について

問

農業委員会、農業生産法人、農協は、家族農業を基本とする戦後農政の中心に据えられてきた制度である。「改革案」は、実質的に解体し、戦後農政を根本からくつがえす内容であり、農業と農村のあり方に深刻な影響を及ぼし、食料の安定供給

答

農業委員会は地域で営農を営む農業者の代表であり、その果たす役割は重要である。その公的代表を地域の農

や国土・環境の保全といたった国民的課題の達成に逆行するものといわざるを得ない。政府の「農業改革」について市長の見解は。

業者が選出する「公選制」をなくす事には、慎重であるべきと考えられる。農協改革については、農協が個々の農家の経営に深く関わってきた歴史からしても、農山村地域では重要なインフラにもなっていることなどから、慎重な議論が求められる。



実りの秋も、米価の下落が心配される



浅沼 幸雄 議員 (新興会)

一問一答方式

問

平成23年10月に遠野馬の里競走馬部門が完全民営化された。それから現在までの3年間の状況は。

答

第一次進化まちづくり検証委員会から緊急提言を頂き、また、議員各位の理解も頂きながら、競走馬部門完全民営化の受け皿として遠野トレーニングセンターを立ち上げて頂いた。

馬の里競走馬部門の現在の状況は

た。

以来現在まで、年間約70頭の安定した頭数を確保しており、経営も安定していると認識している。加えて馬の里での育成馬が今年、日本ダービーへ出走したり、約15名の市外からの新規雇用者が市内に定住したり、綾織夢を咲かせる女性の会の方々が、おいしい食事を提供して好評を博す等の効果もあらわれて

頭数も経営も安定していると認識



充実した施設で強い競走馬の育成が期待される (馬の里の覆い馬場)

問

競馬人気低迷していると思われる現在において、これから先も70頭という安定した頭数が確保されるのか。

答

遠野トレーニングセンターの構成員は、北

海道で大規模な生産牧場を経営なされている方、多くの競走馬を所有しJRAでも活躍なされている関西地区の馬主の方、そして生産された競走馬を調教する、我が国の第一人者である調教師の方も関わっており、それに加えて地元として遠野市

が良好な環境のなかで存分にトレーニングができて、良い結果を出せるという環境を整えておけば、安定的な頭数の確保は可能であると考えている。

【その他の質問】

- 「遠野スタイル自立・連携行動プラン」の進展状況と今後について
- 公共施設の現状把握の進捗状況とそれを踏まえた出口戦略としての再生計画策定のスケジュールについて